

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 中島 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

・運動への関心・意欲・態度に関する項目では、「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、「好き」や「やや好き」の割合が全国平均を大きく上回っている。
・1週間の総運動時間に関する項目では、「ふだんの1週間について、学校の体育の授業以外で、運動やスポーツを合計で1日おおよそのくらい時間していますか」に対して、男女ともに1週間の総運動時間は全国平均を大きく上回っているが、日曜日は全国平均を下回っている。
・体育の授業に関する項目では、「体育の授業は楽しいですか」に対して、「楽しい」や「やや楽しい」の割合が全国平均を下回っている。また、「体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがありますか」に対して、「よく実感する」や「少し実感する」の割合が全国平均を下回っている。運動への関心・意欲は高いので、「主体的な学び」や「動きの質の向上」の実現に向け、授業を工夫する必要がある。
・健康に関する項目では、「朝食は毎日食べますか」に対して、「毎日食べる」「食べない日もある」の割合は全国平均を下回っている。また、「平日、学習以外で、1日にどれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」に対し、視聴時間が全国平均を大きく上回っている。
・自尊心に関する項目では「自分にはよいところがあると思いますか」に対しては、「当てはまる」や「どちらからかといえば当てはまる」の割合は全国平均を大きく下回っていた。学校生活の様々な場面で、自尊心を高める手立てが必要である。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・運動場や体育館においても、「めあて」「まとめ」「振り返り」を定着させる。
- ・授業の中で、ICT機器を活用して自分の動きを客観的に見たり、ペアやグループで教え合ったりすることによって、自分自身の課題を見付け、「動きの質の向上」を図る。
- ・学年や自身の体力によって回数や時間を変えるなど、個の体力に応じた活動を行うことができるよう工夫する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・週に1回(毎週火曜日)の中休み、全校外遊びを行い、外での活動に意欲的に取り組めるよう働きかける。
- ・体育の持久走の授業(3学期)に合わせ、昼休みに全校で持久走に取り組み、体力の向上を目指す。